

文化情報学部 卒業研究・卒業論文ルーブリック

	1	2	3	4	5
知 識 技 能	国内外の関連研究に関する最新の動向を精査して、自身の研究活動に利用できる。 文化を科学的に探求するために必要な研究手法に精通している。	国内外の関連研究に関する情報を理解し、研究課題を説明できる。 文化を科学的に探求するために必要な研究手法を理解している。	国内外の関連研究に関する情報をおおよそ把握しているが、研究課題についての説明力は不十分である。 文化を科学的に探求するために必要な研究手法は把握しているが十分に理解はできていない。	教員が説明した研究内容しか理解できていない。 研究手法の実施手順の理解度が足りず、その実施には補助者が必要である。	研究内容について理解できておらず、研究手法の把握もできていない。
思考力 判断力 表現力	関連研究を自ら調査し、有用な研究課題の発見ができる。 課題解決のための研究方法を十分に理解した上で、計画的に実行でき、その成果を完成度の高い卒業論文にまとめることができた。	関連研究を教員の指導のもとで調査し、研究課題の意義を理解できる。 教員が説明した研究方法を理解し、計画的に実行でき、その成果をやや高いレベルの卒業論文にまとめることができた。	教員が説明した研究課題の意義を理解している。 教員が説明した研究方法を理解し、教員の指示通りに実行でき、その成果を標準的なレベルの卒業論文にまとめることができた。	教員が説明した研究課題の意義を理解しているが、研究に向かう態度は受動的である。 研究方法の実施はできるが、理論的な思考は伴っていない。 卒業論文のレベルも標準以下である。	研究課題の問題点が理解できていない、あるいは意味のある研究課題を見つけられていない。 適切な研究方法が実施できない。 卒業論文は未完成か、完成のレベルに達していないかのいずれかである。
主体性 多様性 協働性	自ら積極的に研究課題に取り組み、関連する知識を自ら得ることができる。 他人の意見を尊重し、自らの研究に生かそうとする意欲が非常に高い。	自ら研究課題に取り組み、解決しようとする。 他人の意見を尊重し、自らの研究に生かそうとする意欲がある。	教員の指導を尊重し、研究課題に取り組むことができる。 他人のアドバイスも受け入れる姿勢が見られる。	教員の指導に促されてから、研究課題に取り組むことができる。 研究を発展させる意欲が低い。	研究課題に取り組まない。 研究を発展させようとする意欲がない。